

## 如来寺

本願寺派 富士吉田市新倉

如来寺は縁起によれば、当地にあった観音堂が、和銅2年(709)菩薩戒を修する修養道場として救願寺となったのが起りのようである。平安時代に入り真言宗に改宗。安貞2年(1228)、相模国国府津にあった親鸞聖人が山中～内野～明見～新倉～浅川～御坂峠と越え、甲斐国の聖徳太子の旧跡である萬福寺へ巡拝の途中に、当地に立ち寄られた際に、当時の住職が聖人に帰依し、法名を授かり浄土真宗に改宗したと伝えられている。

### 騎乗の太子像

境内には太子堂がある。その中には聖徳太子が甲斐の黒駒にまたがった姿の木像が安置されている。



如来寺

何故このような像があるかという、推古6年(598年)聖徳太子27歳のとき、甲斐国が献上した黒駒に騎乗し富士山に登ったという伝記(『扶桑略記』に記述あり)がある。その際、空から最初に降り立ったといわれる富士七合目の駒ヶ岳という地に聖徳太子と銅馬を安置し、その所有・管理を如来寺がしていた時代があったことに由来するようである。